

情勢に対応した農業経営をめざして

～若手生産者を対象とした経営改善研修会の開催～

山武農業事務所改良普及課 令和6年1月4日発

丸朝園芸農業協同組合は、サンダーソニア、カラーなどの切り花、にんじん、トマトなどの園芸品目を中心とした生産活動を展開しています。近年、資材費や燃油価格の高騰等で情勢は厳しく、対策が必要となっています。そこで、11月29日に青年部の若手生産者を対象に、個々の経営収支を見直し、経営改善を図ることを目的とした研修会を開催したところ10名が参加しました。

当日は、東金税務署によるインボイス制度の基礎と実務上必要な知識についての講義を受け、農業事務所からは、野菜や花きの標準的な経営収支と経営改善のポイントの説明、品目ごとの経営相談を行いました。参加者からは、「インボイス制度の内容がよく分かった」、「個別相談で経営収支を見直すきっかけになった」等の感想が聞かれました。

農業事務所では、今後も経営改善支援をとおり農業者の所得向上につなげていきます。



インボイスセミナー受講の様子



品目ごとに分かれて経営改善の相談